

3 株式会社 国土開発センター

～節電の取組～

1. 節電のポイント

- 1) 節電効果があり管理できるものを選定（電気設備の電気使用量で特定）
- 2) 社員への協力体制（社員の安全や健康、仕事の効率を考え、何を実施するか決定）
- 3) 削減結果の案内（参加意識と共感を与える）
- 4) 節電の取組は、空調、照明、パソコン、ノー残業デーや消灯時間の繰り上げの実施

2. 空調

1) 6月 エアコンの使用を制限

2) 7月から9月までのエアコン使用制限

室温 30℃を超えないことを目安に使用時間を制限

①始業 8:30 から 10:00 （午前の気温が上がる前の使用制限）

②昼休み 12:00 から 13:00 （昼休みの使用制限）

③終業時間 19:00 から 20:00 （終業前の30分使用制限）

※部毎に毎日の節電についてチェック表を運用

3) 扇風機の導入（8台）

室内の空気を循環し、冷房効率を上げ、設定温度を守る

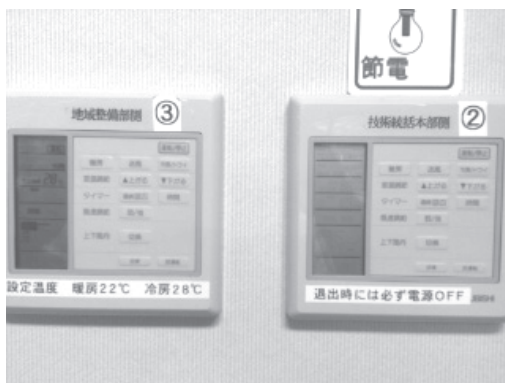
※夏季 29℃、冬季 21℃（暖房にも効果あり）



【扇風機により室内の空気を循環】



【扇風機により室内の空気を循環】



【エアコンの使用を制限 右1台を停止】



【エアコンの使用を制限 右端1台を停止】

3. 照明

1) 駐車場の照明 OFF

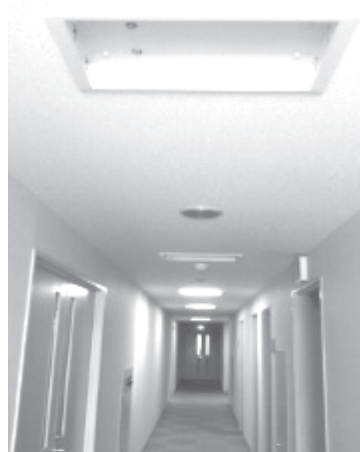
自動点灯機能を解除し、20:30 まで 2 時間程度の節電

2) 室内照明および廊下照明の間引き

間引き率を全照明の 7% から 15% へ強化



【室内照明の間引き】



【廊下の照明間引き】

4. パソコン

1) 20 分でモニターのパワー OFF (システム設定)

2) 30 分でハードディスク電源 OFF (システム設定)

3) 照度の設定 輝度を下げる (各自パソコン)

5. ノー残業デーの実施や消灯時間の繰上げ

1) 毎月 2 回、ノー残業デーを実施 (第 2・4 水曜日)

2) クールアースデー等に合わせてノー残業デーを実施 (6 月 20 日、7 月 7 日)

3) 20:00 の消灯時間を 19:30 に繰り上げ (7 月以降実施)

6. 節電効果

1) 対象範囲 本社および技術開発研究所

2) 前年との実績比較

月	平成 22 年実績値	平成 23 年実績値	削減率
6 月	48,522kwh	39,112kwh	19.4%削減
7 月	68,008kwh	49,341kwh	27.4%削減
8 月	77,155kwh	54,117kwh	29.9%削減
9 月	57,768kwh	42,965kwh	25.6%削減
合計	251,453kwh	185,535Kwh	26.2%削減